江戸時代

名前

問1　19世紀における日本の総石高は約3021万石とされています。そのうち、江戸幕府が「直轄地」として直接支配していた領地（幕府領）の石高が占める割合として、最も適切なものを選びなさい。（2022年 大阪府公立入試 類似）

1. 全国の総石高の半分以上（約1800万石）
2. 全国の総石高の約4分の1（約723万石）
3. 全国の総石高の約4分の3（約2250万石）
4. 全国の総石高の約1パーセント（約33万石）

問2　島原・天草一揆における一揆勢の状況や、彼らが直面していた困難について正しく説明しているものはどれですか。（2020年 佐賀県公立入試 類似）

1. 鉄砲やキリスト教を伝えたポルトガル人から軍事支援を受け、幕府を倒して新しい政権を作ろうとした
2. 天草四郎を首領として仰ぎ、キリスト教による強い連帯感を持ちながら、過酷な年貢の取り立てに抵抗した
3. 勘合を用いて明と貿易を行う権利を主張し、幕府による貿易独占に対して組織的な反対運動を展開した
4. 領主から与えられた朱印状による海外貿易が禁止されたため、経済的な補償を求めて一揆を起こした

問3　徳川吉宗が行った享保の改革において導入された「上米の制」の仕組みについて、大名に米を納めさせる際の見返りとして提示された具体的な内容はどれですか。（2018年 神奈川県公立入試 類似）

1. 江戸の町人に貸し付けていた公金の利子を帳消しにした
2. 参勤交代において江戸に滞在する期間を半年に短縮した
3. 幕府が独占していた長崎での貿易の利益を一部分配した
4. 領地内での年貢率を大名の裁量で自由に決定することを認めた

問4　江戸時代の交通網において、幕府が街道に一定の間隔で「宿場」を置き、参勤交代を支える仕組みを整えた主な理由として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 群馬県公立入試 類似）

1. 鉄道網を全国に張り巡らせ、蒸気機関を用いた物資の大量輸送を幕府が主導して行うため。
2. 農民の自由な移動を全面的に認めることで、地方の特産品を日本橋に集中的に流通させるため。
3. 航空路の安全を確保するために、各地に高い目印となる建物を配置して旅人の道しるべとするため。
4. 大名の行列が宿泊や休憩を行う拠点を確保し、江戸と地方の連絡や軍事的な移動を円滑にするため。

問5　18世紀末以降、ロシアやイギリスなどの外国船が日本近海に現れるようになると、これまでの医学・科学研究にとどまらず、海外の政治情勢を分析して幕府の外交政策に意見を述べる人々が現れました。渡辺崋山や高野長英に代表される、オランダ語を通じて西洋の学問を研究したこれらの人々を何と呼びますか。（2020年 熊本県公立入試 類似）

1. 蘭学者
2. 儒学者
3. 国学者
4. 考証学者

問6　16世紀半ばから18世紀前半にかけての、日本における対外関係や政策の変遷を時系列で示したものとして、正しい順番はどれですか。（2023年 島根県公立入試 類似）

1. オランダ商館の長崎・出島への移転 ―― イエズス会の宣教師によるキリスト教伝来 ―― 徳川吉宗による漢訳洋書の輸入制限緩和
2. 徳川吉宗による漢訳洋書の輸入制限緩和 ―― イエズス会の宣教師によるキリスト教伝来 ―― オランダ商館の長崎・出島への移転
3. イエズス会の宣教師によるキリスト教伝来 ―― 徳川吉宗による漢訳洋書の輸入制限緩和 ―― オランダ商館の長崎・出島への移転
4. イエズス会の宣教師によるキリスト教伝来 ―― オランダ商館の長崎・出島への移転 ―― 徳川吉宗による漢訳洋書の輸入制限緩和

問7　松平定信が行った「寛政の改革」の内容として、当時の社会状況に基づき、思想や学問の統制を目的として実施された政策はどれですか。（2024年 新潟県公立入試 類似）

1. 聖堂学問所での朱子学以外の講義を禁じた
2. 参勤交代の負担を減らす代わりに米を献上させた
3. 公事方御定書を制定し、裁判の基準を作った
4. 株仲間を解散させ、物価の下落を狙った

問8　19世紀前半、アヘン戦争での清の敗北を知った江戸幕府は、対外政策の転換を迫られました。老中の水野忠邦が行った天保の改革において、それまでの強硬な「異国船打払令」を改めて、漂着した外国船に燃料や水を与えることを認めた法令を何といいますか。（2016年 大分県公立入試 類似）

1. 慶安の御触書
2. 生類憐みの令
3. 薪水給与令
4. 武家諸法度

問9　江戸幕府がキリスト教の禁止を徹底するために実施した、宗教政策に関する説明として最も適切なものを選びなさい。（2017年 佐賀県公立入試 類似）

1. キリスト教の教義を仏教の一部として取り入れ、幕府の管理下で信仰を認めた
2. キリスト教を信仰する者が海外に逃げ出さないよう、日本全国の海岸線に防塁を築いた
3. キリストや聖母マリアが描かれた板を足で踏ませることで、信者を見つけ出す絵踏を実施した
4. すべての領民を近隣の神社に所属させ、キリスト教徒ではないことを証明させた

問10　江戸時代、幕府は大名に対して領地を別の場所へ移す「国替（領地替え）」を命じる権限を持っていました。幕府がこのような強力な権限を行使した主な目的として最も適切なものはどれですか。（2023年 福島県公立入試 類似）

1. 大名が外国と密貿易を行うのを防ぐため、沿岸部から引き離すため
2. 大名の勢力をそぎ、幕府による全国支配の体制を強化するため
3. 大名の領地を一定期間で交代させ、地方自治の停滞を防ぐため
4. 大名に新しい土地の開墾を奨励し、全国の石高を増やすため

問11　日本の武家政権における組織図を整理した際、将軍を補佐する中心的な役職は時代とともに変遷しました。鎌倉幕府、室町幕府、江戸幕府の順に、それぞれの幕府で将軍を支えた最も代表的な役職の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2019年 大分県公立入試 類似）

1. 管領（鎌倉） ― 執権（室町） ― 老中（江戸）
2. 執権（鎌倉） ― 老中（室町） ― 管領（江戸）
3. 執権（鎌倉） ― 管領（室町） ― 老中（江戸）
4. 老中（鎌倉） ― 執権（室町） ― 管領（江戸）

問12　19世紀前半の日本の外交史において、間宮林蔵による樺太調査が行われた時期のあとに、江戸幕府が1825年に発令した法令について説明します。この法令は、日本近海に接近する外国船を、理由を問わず無差別に攻撃して追い払うことを命じたものです。この法令の名称として正しいものはどれか。（2022年 徳島県公立入試 類似）

1. 異国船打払令
2. 薪水給与令
3. 開国令
4. 武家諸法度

問13　19世紀前半、江戸幕府の老中であった水野忠邦は、都市部での物価高騰を抑えることを目的として天保の改革を行いました。このとき、物価上昇の原因が特権商人による流通の独占にあると考えた水野忠邦が実施した政策として最も適切なものを選択してください。（2023年 和歌山県公立入試 類似）

1. 「株仲間」の結成を奨励し、幕府への税金である「運上」や「冥加」を増やした。
2. 「上知令」を出して、商人たちが所有する江戸周辺の土地をすべて没収した。
3. 「棄捐令」を出し、商人が武士に対して貸し付けていた借金をすべて帳消しにした。
4. 商人が組織していた「株仲間」を解散させ、商品の流通を自由にするよう命じた。

答え合わせ・解説

問1	答え 2 全国の総石高の約4分の1（約723万石）	江戸幕府が直接支配した土地は「幕府領（または天領）」と呼ばれ、その石高は全国の約24%にあたる約700万石強でした。これに対し、全国の約75%（約2250万石）は大名が支配する領地（藩など）であり、寺社領や天皇・公家領の割合は合計しても2%に満たない極めてわずかなものでした。幕府はこの約4分の1の石高に加え、主要な都市や鉱山を直轄地として押さえることで、強力な権力を維持しました。
問2	答え 2 天草四郎を首領として仰ぎ、キリスト教による強い連帯感を持ちながら、過酷な年貢の取り立てに抵抗した	この一揆では天草四郎（益田時貞）が総大将として担ぎ出され、キリスト教徒としての強い結びつきが一揆勢の団結力の源となりました。彼らの不満の矛先は、信仰を否定する幕府の政策だけでなく、飢饉などの困難な状況下でも容赦なく年貢を徴収しようとした領主の圧政にも向けられていました。
問3	答え 2 参勤交代において江戸に滞在する期間を半年に短縮した	幕府は深刻な財政難を改善するため、大名から石高に応じた米を徴収する代わりに、それまで「1年」と定められていた参勤交代の江戸滞在期間を「半年」に短縮しました。これにより大名の経済的負担を減らす交換条件を提示し、反発を抑えつつ幕府の米の備蓄を増やそうとしました。これは武士の権威に関わる参勤交代を緩和してでも、金銭的な問題を優先せざるを得なかった当時の状況を示しています。
問4	答え 4 大名の行列が宿泊や休憩を行う拠点を確保し、江戸と地方の連絡や軍事的な移動を円滑にするため。	幕府は参勤交代の義務化に伴い、大名が多人数の行列を連れて安全に移動できる環境を整える必要がありました。宿場には本陣や脇本陣といった大名用の宿泊施設が置かれ、荷物を運ぶための人馬の交代を行う場所としての役割も果たしました。これにより、幕府は全国の政治的・経済的な統制を維持することができました。
問5	答え 1 蘭学者	江戸時代、日本はオランダ以外のヨーロッパ諸国との国交を断っていましたが、長崎での貿易を通じて西洋の学問が流入しました。当初は医学（解体新書など）が中心でしたが、次第に天文学や兵学、地理学へと関心が広がり、渡辺崋山や高野長英のように、海外情勢の知識をもとに幕府の対外政策を批判する知識層が形成されました。
問6	答え 4 イエズス会の宣教師によるキリスト教伝来 ―― オランダ商館の長崎・出島への移転 ―― 徳川吉宗による漢訳洋書の輸入制限緩和	まず1549年にフランシスコ・ザビエルらイエズス会の宣教師によってキリスト教が伝えられました。その後、江戸幕府による鎖国体制の完成に伴い、1641年に平戸にあったオランダ商館が出島に移されました。そして18世紀に入り、享保の改革の中で徳川吉宗が実学を奨励するために洋書輸入の制限を緩和しました。この歴史の流れを把握することが重要です。
問7	答え 1 聖堂学問所での朱子学以外の講義を禁じた	寛政の改革では、武士の思想を統一して規律を正すために、幕府の正学である朱子学以外の学問を聖堂学問所で教えることを禁じました（寛政異学の禁）。株仲間の解散は水野忠邦の天保の改革、公事方御定書や米の献上（上げ米の制）は徳川吉宗の享保の改革の政策です。
問8	答え 3 薪水給与令	アヘン戦争で強大な軍事力を持つイギリスが清を破ったニュースは、当時の日本に大きな衝撃を与えました。これを受けた老中の水野忠邦は、無差別な攻撃によって欧米列強と不要な紛争が起きることを避けるため、1842年に方針を転換しました。これが薪水給与令であり、漂着した船に対して人道的な立場から燃料（薪）や飲料水、食料を供給することを定めたものです。
問9	答え 3 キリストや聖母マリアが描かれた板を足で踏ませることで、信者を見つけ出す絵踏を実施した	幕府はキリスト教を厳しく禁じるため、踏み絵を用いた「絵踏」などの手段を使い、信者の摘発や棄教の強制を行いました。また、人々を必ず仏教の寺院に所属させる寺請制度を整え、キリスト教徒ではないことを寺院に証明させるなど、民衆の思想や信仰を組織的に管理しました。
問10	答え 2 大名の勢力をそぎ、幕府による全国支配の体制を強化するため	江戸幕府は、将軍が大名に領地の支配権を与えるという形式をとっていました。幕府は大名を統制するために、一方的に領地を移す「国替（領地替え）」や、領地を没収する「改易」を行う強力な権限を行使しました。これにより、有力な大名が特定の土地で力を蓄えて幕府に反抗することを防ぎ、幕藩体制の基盤を固めました。
問11	答え 3 執権（鎌倉） ― 管領（室町） ― 老中（江戸）	鎌倉幕府では北条氏が世襲した「執権」が将軍を補佐し、実権を握りました。室町幕府では、有力な守護大名である細川・斯波・畠山の三氏から選ばれる「管領」が将軍を助け、政務を統括しました。江戸幕府では、複数の譜代大名が交代で務める「老中」が国政の責任者となりました。時代を追うごとに、特定の個人による統治から、より組織的な合議制へと変化していったことがわかります。
問12	答え 1 異国船打払令	1800年代に入ると、ロシアやイギリスなどの外国船が日本近海に頻繁に現れるようになり、通商を求めるようになりました。これに対し、江戸幕府は鎖国体制を維持するため、1825年に接近する外国船を武力で追い払う強硬な法令を出しました。この法令は「無二念打払令（むにねんうちはらいれい）」とも呼ばれます。
問13	答え 4 商人が組織していた「株仲間」を解散させ、商品の流通を自由にするよう命じた。	水野忠邦が主導した天保の改革では、江戸などの都市部で跳ね上がった物価を抑制することが急務でした。水野は、幕府から独占販売の権限を与えられていた「株仲間」が、意図的に流通を制限し価格を釣り上げていると考えました。そのため、1841年に株仲間の解散を命じ、自由な流通を促すことで物価を下げようとしましたが、実際には流通網が混乱し、かえって景気の悪化を招く結果となりました。